

令和7年 3月吉日

児童館をご利用の皆様

公益社団法人 京都市児童館学童連盟
常務理事 健全育成・子育て支援統括監 國重 晴彦
京都市七条第三児童館 館長 岡田 淳子

令和6年度

利用者満足度調査（アンケート）の結果について

陽春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から当法人の児童館事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

この度、当法人が運営する児童館を利用されているすべての方へ向けて、利用者満足度調査(アンケート)を実施したところ、多数のご協力をいただいたことについて、厚く御礼申し上げます。

今回のアンケート結果について全体傾向といたしましては昨年同様児童館の雰囲気や職員の対応に対して多くの方に満足をいただける評価を得ることができました。

乳幼児の保護者様からは、「同じ年ごろの子を持つお母さんと知り合えたり職員や様々な方と出会い交流できたりしてよかった。」「子どもが楽しそうにしていたり、成長が見られる場面があったりしてうれしかった。」「親子で一緒に遊べて楽しい。」等のご意見をいただいています。職員と話をしたり、相談したりすることで、子育ての不安も軽減されたという方もおられました。一方で、時には子どもと離れられる時間をもちたいと望まれる保護者様もおられました。活動については、季節の行事や身体を動かして遊べる取組やさまざまな体験活動を求める声がありました。その他施設については、授乳室やおむつ替えなどパーソナルスペースが分かりにくいとの意見もいただきました。来年度はそうしたご意見をふまえた取組の実施や館内環境の整備に努めたいと考えております。

自由来館の小学生は、行事参加や友だちと遊ぶために児童館を利用してくれていますが、職員と遊ぶことも楽しんでくれているようです。今年度、自由来館児童に特化した取組の充実を目指した結果、初めて来館する児童も少しずつ増えてまいりました。来年度も児童館が居場所の一つとなれるよう子どもが主体となる取組を増やしたいと思っております。

学童クラブの保護者様からは、「異年齢で過ごすことによりお互いに学びあうことが増え、他者への思いやりが感じられる場面が増えたり、コミュニケーション能力が育まれたり体験や興味の幅が広がったりした。」と成長を喜ぶ声をいただいています。また、季節行事や体験活動や館外活動を求める声もありました。昨年度のご意見をふまえて今年度は親子行事を増やしました。来年度は、さまざまな体験ができるような活動や館外活動の充実を目指します。一方で、おやつについてのご意見も頂戴しています。内容について子どもの意見を聴取することや、金額の目安をわかりやすくお伝えすることなど、早急に検討したいと考えております。また、職員の対応について、ご不安やご心配をお掛けしている点は重く受け止め、改善してまいります。

学童クラブ児童は、友だちと会えることを楽しいと感じ、職員と色々な話ができ、困ったことを聞いてくれると感じてくれています。今後も、個々の思いに心を傾けられるよう一人ひとりにしっかりと関わっていこうと思います。また、館外活動や様々な体験・遊び等幅広い取組に対して興味や関心があることが伺えましたので、来年度も引き続き子どもの意見を尊重し、その内容を取入れた取組・活動を実施いたします。一方で、子どもたちが安心して過ごせるような環境整備や安全管理にも努めてまいります。そして来年度も、いただいた思いを大切に、学童クラブが子どもたちにとって「生き生きと輝ける場」「安心できる居場所」になれるよう職員一同尽力してまいります。

また、アンケート設問項目ごとの集計結果に関しましては、単純集計結果とご意見について一部抜粋したものを児童館内に掲示すると共に、京都市の児童館ホームページ内の当館情報ページにも掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

今後も、利用者の皆様に満足いただける児童館運営を目指してまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。